

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

(園番号) No.726

(園名) えばたこども園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) ①週1回各クラスで会議を行い、子ども一人ひとりの発達状況と課題の把握、クラス運営などについて話し合い、同じ意識を持って教育・保育を行う。 ②・各年齢の年間指導計画に目を通し、職員間で共通理解する。 ・3歳未満児は「3つの視点」「5領域」、3歳以上児は「5領域」「10の姿」を意識し、月週案や個人記録案を立てる。保育の振り返りを行い、次の活動につなげる。	(1) ○	
		(2) ①自己評価、「子どもの人権擁護」セルフチェックを実施し、保育の振り返りや課題をみつける。	(2) ○	
		(3) ①・気になる子に対し、「子育てファイルふくいっ子」を活用する。 ・クラス会議にて、発達記録表などを通して発達理解に努め、保育に活かしていく。	(3) ○	
		(4) ④全職員救命講習会を受講する。 ⑧危機管理マニュアルに基づく各マニュアルの見直しと確認を行う。 (登降園時、園外保育での人数確認・行方不明児の発生時マニュアル、お散歩マップなど)	(4) ○	・園内マップを活用したヒヤリハットの実施。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) ①研修受講後の報告は、会議の中で伝え、園全体で取り組んでいく。 ②「ポスターセッション」「みあいっこ」「公開保育」の実施、子どもの育ちや環境構成などについて意見交換をする。	(5) ○	・語り合う機会が増えた。振り返りをして、保育に活かしていく。 ・何でも気楽に話せる場として、雑談会(30分/日)の時間を設ける。
		(6) ③園長研修会による共通理解。	(6) ○	
		(7) ①・一人ひとりに必要な資質向上のための研修の実施。 ・子育て広場を実施し、子育てマイスター等の実践を自身の学びとし、保育に取り入れていく。	(7) ○	
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) ①・各年齢の学びや保育活動・食育活動を発信していく。 ・保育黒板(ドキュメンテーション)、「てのりの」動画配信、「園フォト」、園だより、保健だより、献立表の発行 ③連絡帳、送迎時、保育体験の対話等での情報交換及び個別支援の必要な保護者との面談を行う。	(8) ○	
		(9) ①毎月の発育指数をもとに、痩せすぎや太りすぎの園児の保護者に栄養指導を行う。 ②看護師による手洗い、歯みがき教室の実施。 ④年に1度保育体験を実施する。(1家庭1人)	(9) ○	・次年度は、希望により両親の参加を受け入れる。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) ①月一回、子育て広場を行う(園開放、子育てマイスター等の講師を招いての子育て広場)	(10) ○	
		(11) ①一時預かりの受け入れ実施。	(11) ○	
		(12) 子育て広場にて、個別に育児相談に応じる。	(12) △	・講師を招いての活動の時は、ゆっくり話すことが少なかった。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を發揮します	(13) ①気になる児について健康管理センターに連携シートを送付し、情報共有する。 ⑥・福井県特別支援教育センター、福井県子ども療育センターと必要な情報提供を行い、連携して支援していく。 ・要保護児童について子ども福祉課に情報提供を行う。 ・該当児の検討会議には、園長・担任が出席し、その後全職員に報告する。	(13) △	・連携シートの送付について、クラス担任との情報共有ができていない事があった。
		(14) ②④地区の連絡協議会等に参加する。	(14) ○	

		(15) ②③福井県幼児教育支援センター主催の幼児教育から小学校への接続講座研修への参加。	(15) ○	
		(16) ③子育て広場を行い、地域の子育て家庭の交流の場として開放する。	(16) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17)	(17)	
IV子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) ③学生による教育・保育体験の受け入れ。	(18) ○	足羽中学校 職場体験（5名）
		(19) ③ホームページを通じて園の活動を発信する。	(19) ○	
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) ②地域の子育てサークルなどから申し出があった場合に、場所の提供を行う。	(20) ○	
		(21) ②専門性を活かした人材の活用。	(21) ×	
V安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22)	(22) ○	
		(23) ・令和6年度東海北陸保育研究大会に向けて取り組んでいく。 ・令和7年度予定の福井県保育研究大会の発表に向けて、取り組みについて話し合う。	(23) △	・R7「保育者の資質向上を図る」の分科会にて発表となる。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) ③アクションプログラムに基づいた活動計画と実施。	(24) △	

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。